

日清シスコ 株式会社



贈呈理由

生産工程に使用する温水に対してヒートポンプ給湯機を導入し、運用改善を図ることにより省エネを実現



工場外観

日清シスコ株式会社は、各種シリアルフーズ、ビスケットなど食品・菓子の製造販売会社として、1924年の創業以来、ココナッツサブレやチョコフレーク、シスコーンなど幅広い世代に長い間愛され続けている商品を数多く発売している。

1955年に操業を開始した大阪工場では、主にシリアルフーズ・チョコレート菓子を生産しており、生産工程で製品保温のために温水を使用している。

現状分析から最適なシステムを検討

従来、平日は蒸気ボイラを中心に、休日は保安の関係上ヒーターで加温を行っていたが、蒸気ボイラの設置場所から供給箇所までの距離が長いこと、配管からの放熱ロスが大きく、また、ヒーターによる加温はエネルギーコストの上昇要因でもあった。エネルギーコストの低減や省エネ推進の観点から、設備の運用状況の測定結果をもとにシステム改良の検討を重ね、効果が見込めたことから、高効率ヒートポンプ給湯機の採用に

至った。

運用面では、高効率のヒートポンプ給湯機を優先的に稼働することにより、蒸気ボイラの稼働が減少し、休日はヒーターではなくヒートポンプ給湯機を稼働させることで省エネ・省コストにつながった。

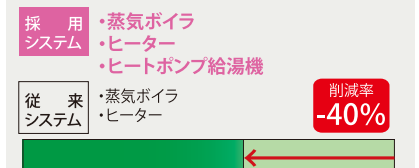
結果、温水の使用箇所においては、更新前と比較して一次エネルギーで約40%の削減を実現し、ヒートポンプ給湯機導入による省エネ効果が確認できたため、同様の工程においても新たにヒートポンプ給湯機を導入した。

今後も、さらなる省エネ・省コストを実現するために検討を重ね、環境に配慮したシステムの構築を目指すとともに、シリアルとお菓子で「もっと楽しく、健やかに。」というスローガンのもと、食べる人の笑顔を生み出すことを通じ、社会へ貢献していきたいと考えている。

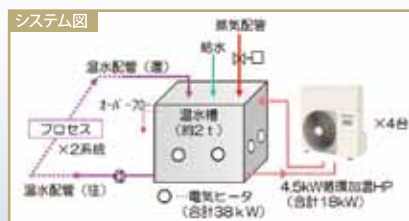


業務用ヒートポンプ給湯機

一次エネルギー消費量削減効果



【諸元】実測結果に基づく年間シミュレーション比較
 一次エネルギー換算値
 ※1.電気(全日)9.76MJ/kWh※2.都市ガス45MJ/Nm³
 ※1.「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(平成28年3月1日改正)
 ※2.「エネルギーの使用の合理化に関する法律第15条及び第19条の2に基づく定期報告書記入要領別添資料4」(平成28年3月1日改正)



日清シスコ株式会社

所在地: 堺市堺区石津北町80
 延床面積: 10,158m²
 竣工: 2015年(更新)
 ■設備概要
 業務用ヒートポンプ給湯機 4.5kW×4台
 【東芝キャリア】
 貯湯槽: 2m³